

校庭の桜のつぼみもふくらみ始め、もうすぐ春がやってきますね。

さて、今日は卒業式の予行練習です。本番と同じ気持ちで臨んでいると思います。卒業式当日は卒業生に贈る言葉を話しますが、今日は全校のみなさんに少しだけお話しをさせてください。

今年代表委員会だったでしょうか。「努力のつぼ」の話をしたことを覚えていますが。それはこんなお話でした。人が何か始めようとか、今までできなかったことをやろうと思った時、神様から努力のつぼをもらいます。そのつぼはいろんな大きさがあって、人によって、時には大きいのやら小さいのやらいろいろあります。そしてそのつぼは、その人の目には見えないです。

でもその人がつぼの中に一生懸命「努力」を入れていくと、それが少しずつたまって、いつか「努力」があふれる時、つぼの大きさが分かるというのです。だから休まずにつぼの中に努力を入れていけば、いつか必ずできる時がくるのです。

校長先生はこのお話が大好きです。

今年一年もいつもみんなで心合わせて前に進んできました。たくさん「努力のつぼ」にやればできると信じて「努力」を入れてきましたね。そしてその努力のつぼがあふれる瞬間をたくさん見てきました。とび箱がとべた瞬間。二重跳びができるようになった瞬間。一輪車が補助なしで乗れるようになった瞬間。すべて、みなさんが日々の学びを大切に、「やればできる」と自分の力を信じて一生懸命に取り組んできたから

です。その姿や心を合わせてみんなで一つのことに取り組む姿にたくさん感動をもらいました。一年間本当にありがとうございました。

努力を入れてもあふれてくれない大きなつぼもあるかもしれませんが、中味がいっぱいあるから、頑張り続けることは自分のためにもみなさんのためになるのです。だから「やればできる」と信じてこれからも、今年度もあと少しですが、最後まであきらめず頑張ってくださいね。みなさんのたくさんの方の努力のつぼがあふれることを祈りながら校長先生のお話を終わります。

令和六年三月十五日

甲府市立千代田小学校 校長 篠原利明